

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月21日

協議会名： 白糠町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
白糠町	(1)茶路沢コース(右股～白糠駅・白糠高校・清和園) (2)庶路沢コース(上庶路～白糠高校・清和園) (3)庶路・西庶路市街地コミュニティバス系統1(庶路駅～白糠高校) (4)庶路・西庶路市街地コミュニティバス系統2(庶路駅～清和園) ※なお、(2)及び(3)で使用する車両の購入にあたっては、車両減価償却費等国庫補助金を活用する。	なし	A 当該事業は計画どおり適切に実施されている。	B 市街地コミュニティバスの利用者数 5,129人(令和3年度目標11,800人) 市街地における公共交通利用圏域 75.0%(令和3年度目標75.0%) 山間部における公共交通の利用者数 1,915人(令和3年度目標1,935人) ・令和2年10月～令和3年9月までの利用者数は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による外出規制等により、市街地コミュニティバス利用者は、大幅に下回る結果となったが、山間部の利用者については、目標値をほぼ達成することができた。	今後は更なる利用促進策を検討するとともに、町民の生活交通(買い物や通院、通学等)を維持・確保し、地域間幹線系統等との接続による広域移動の確保を図るため、引き続き計画の検証を実施し、新年度へ向けたバス停の新設やルートの変更、ダイヤ改正を検討し、住民ニーズに沿った運行の検討を行う。